

しゅうれんかい (修練会) からのメッセージ

公益財団法人豊島修練会 2017年6月10日号(通算第22号)

子どもたちへ (小さなお子さんには読んであげてください)

このごろ、学校に行く時や帰るときに、交通事故にあう子どもが多いです。次のようなことに気をつけて、事故にあわないようにしましょう。おうちの人と、交通安全について話し合ってみましょう。

- 信号を守りましょう。青になっても、右と左をよく確かめて、自動車が止まってからわたるようにしましょう。
- 信号(青)が、チカチカしていたら、わたるのはやめて、次の信号にしましょう。
- 横断歩道や歩道橋をわたるようにし、信号のない所の横断はやめましょう。
- 歩道を歩いているときも、らんぼうな運転をする人がいるので、自転車や自動車に気をつけましょう。
- 自転車に乗る前に、ブレーキがきくか、ライトがつくかなどを確かめましょう。自転車に乗るときは、安全運転をしましょう。特に、小さな子やお年寄りに気をつけましょう。



大人の皆様へ (パパ&ママ、ジジ&ババなど)

最近、青信号で横断しているときに、スマホに夢中になっていた自動車にはねられて、大けが(気の毒に死亡)をした子どものニュースをよく聞きます。中には、登校中、歩道を歩いていて、わき見運転、あるいは高齢者の頼りない運転(私は、自動車の運転に自信がなくなったので、今回の更新で、免許を自主返納することにしました)で歩道に乗り上げてきた自動車にはねられて事故に遭うこともあります。

いくら、自分がルールを守っていたからと言って、事故にあったら取り返しのつかないことになります。いい加減な運転をする人がいるということを考え、万一に備えて、気を付けることが必要です。悲しい(残念な)ことです。

そこで、上記「子どもたちへ」の4つの○を参考に、お子さんと話し合ってみましょう。

学校の先生がたへ

大きさに言えば、子どもの登下校中の交通事故のTVニュースの流れない日がないくらい頻発している。元気に登校してきた子どもたちを、元気なニコニコ顔で家族の下に無事返すのは、先生方の最優先の願いです。

それだけに、登校時や下校時の交通安全、日常生活における交通ルール、自転車の乗り方、などについての指導は重要です。学級指導の「安全指導」や警察署の協力を得ての「交通教室」など、学校における指導・対応も重要です。どこの学校でも工夫していることですが、子どもたちが新学期に慣れてきて緩みがちになるこの時期に、再確認して、子どもたちにもう一度自覚させる必要があります。その際、家庭や地域にも、学校・学年・学級日よりなどで協力を呼びかけることも効果があるようです。(YAYU)

★備考★なお、話題提供として本を紹介しているだけで購読を勧めるものではありません。[成美教育文化会館]で検索すると、「かけはし」「メッセージ」「Q&A」「ほん本ブック」及び「一字荘」「至楽荘」「会館の会場貸出」など様々な情報が閲覧できます。ご利用ください。



